

出張授業キャラバンIN 西成

地域の歴史・地理を学ぼう

Vol.3

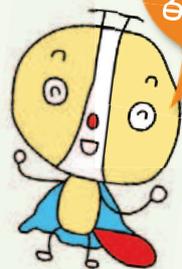


西成情報アーカイブ事業の一環として身近な地域の成り立ちについて松之宮小学校で講義を行いました。



水内俊雄先生

地域の歴史をたどるには、江戸時代の藩政村が基本になり、そこには集落があり、寺や神社があり、まわりに田畑が広がるという一般的な村の形を学んでもらうことからはじめました。松之宮小学校の由来が校歌にもうたわれている、産土神（うぶすながみ）の松之宮神社で、本社は浪速区の大國町にあること、江戸時代は木津村であったこと、そして同じような村が、まわりに今宮村、勝間村、津守新田村などがあることを、昔の地図で確認しました。鉄道の開通で急速に市街地化し、松之宮小学校は、明治になってできた新しい今宮村のなかでは、6番目につくられた小学校で、今年で88年を迎えました。この今宮村は明治行政村と呼び、役場や小学校が必ずセットとして設けられたことも学びました。



身近な地域の昔の姿って面白いね！



2015年7月18日 大阪市立松之宮小学校

対象…6年生